

**Vol.046**  
**福島市議会真政会報**  
 — 平成28年7月 —

# 真政会報

**真政会要綱**

私たちは地方自治の信念に則り行政に対する監視と提言を怠ることなく、常に市民と行政のパイプ役として「市民」「議会」そして「市当局」との三位一体を旨とし、市民福祉の向上と地域の振興・発展、真の市政伸展に邁進することを誓う！

▶アオウゼにて開催された市民との意見交換会の様子



## 市民の皆さんとの意見交換会2016

### 「今後の公共施設のあり方について」

5月8日真政会の主催による第2回「市民との意見交換会」を福島市のアオウゼにて開催しました。

今回の意見交換会では「今後の公共施設のあり方について」と「市政全般について」の2部構成にて市民の皆様幅広い意見を伺い40名を超える参加者で会場は熱気に包まれました。

まず今回の報告にあたり、11月の意見交換会のテーマと会派の対応ですが、「中核市移行について」に関しましては会派活動や中核市移行に関する特別委員会にて活かさせて頂いており、次に「市政全般について」の部で出された意見要望のうち、もりんシルバースポーツ適用年齢引下げや本市への企業誘致等に

ついては3月定例会議の場で当局に対し質問しました。現状では検討を要することでしたが引き続き市民の声を市政に反映させるべく取り組んでまいります。

意見交換会の第1部前半では真政会で視察した複合施設の報告を交えて公共施設のあり方についての意見交換を行いました。1、000名収容の芸術劇場を持つユウナル東海（愛知県）の民間事業を活用した手法、図書館併設の1、200名収容大ホールを持つホルトホール大分（大分県）、図書館併設で300名規模の市民利用を第一に考えられたおおぶ文化交流の杜（愛知県）の3複合施設について、施設概要や特に建設における資金調達、また運営方法の違いなど視察で聴取した内容を報告しました。その後の質疑では参加者から、市内の公会堂、図書館など築50年以上経過している施設をはじめ多くが老朽化していること。又、市側がどのような対応を考えているのかなど特に公共ホールについていくつかの質問をいただきました。真政会として後期基本計画の枠組みの中にまだ示されていない老朽化施設の更新についてどのようにしていくのか

を優先順位を含め市側に厳しく質していくことを伝えました。

**公共施設と市政全般の質疑**

第1部後半と第2部では公共施設の最適化にむけて市民はどのように関わっていくかについてを含め市政全般についての意見の交換を行いました。

高度経済成長期に多くの施設が作られ40、50年が経過している現状下、施設の劣化・社会環境、行政需要の変化等の問題があり、効果的・効率的な公共施設の最適化が必須となっています。

市民の皆さまからは、

- 構想の段階での市民の意見を聞いて欲しい
- 県の文化施設もある中で稼働率も考えた市の施設を考えると、中規模のホールを実現いただきたい
- 視察先は福島市と同規模でなければ意味がないのではないのか
- 学習センター館長の公募は進んでいるのか

といった意見がなされました。

市民一人一人とともに施設のありかた等を真剣に考えていかねばなりません。今後も市民の皆さまの声を市政に反映すべく、意見交換を行ってまいります。



半沢 正典

### 会長挨拶 平成28年6月定例会議を終えて

7月10日は、参議院選挙投票日です。市町村の業務は国の決めた大きな枠内で行われる故、市町村業務を国は末端行政とも呼びます。それに対し真政会は、「市民・生活者に最も身近な行政」と言い換え、一人でも多くの市民満足度を上げるためきめ細かな政策を間断なく提言しております。その提言が、多くの市民の意見を反映した足腰の強い政策となるよう5月に第二回との意見交換会」を実施いたしました。また、本定例

会議においては、「福島市の速やかな中核市への移行を求める陳情」1件を当会派も賛成し採択されました。今後は中核市移行を見据え、国・県からの画一的な施策から脱却し、本市の地域性、特色を生かした枠組みづくりに取り組んでまいりますので、今後も市民の皆様のご意見をお待ちしております。

会議においては、「福島市の速やかな中核市への移行を求める陳情」1件を当会派も賛成し採択されました。今後は中核市移行を見据え、国・県からの画一的な施策から脱却し、本市の地域性、特色を生かした枠組みづくりに取り組んでまいりますので、今後も市民の皆様のご意見をお待ちしております。

### 今後の公共施設のあり方

意見交換会の第1部前半では真政会で視察した複合施設の報告を交えて公共施設のあり方についての意見交換を行いました。1、000名収容の芸術劇場を持つユウナル東海（愛知県）の民間事業を活用した手法、図書館併設の1、200名収容大ホールを持つホルトホール大分（大分県）、図書館併設で300名規模の市民利用を第一に考えられたおおぶ文化交流の杜（愛知県）の3複合施設について、施設概要や特に建設における資金調達、また運営方法の違いなど視察で聴取した内容を報告しました。その後の質疑では参加者から、市内の公会堂、図書館など築50年以上経過している施設をはじめ多くが老朽化していること。又、市側がどのような対応を考えているのかなど特に公共ホールについていくつかの質問をいただきました。真政会として後期基本計画の枠組みの中にまだ示されていない老朽化施設の更新についてどのようにしていくのか

# 各常任委員会の報告

常任委員会は、少人数で専門的に審議をつくすために設置される委員会で、それぞれが所管する事務の調査、議案、請願、陳情の審査などを行います。福島市議会基本条例に基づきさらに頑張ってまいります。

なお、【 】内は当会派のそれぞれの所属議員名です。

## 総務

(定数9人)

【真田・尾形・大平・菅田】



【財務部】新斎場整備事業に係る、敷地予定地の樹木伐採・抜根、造成工事、雨水排水・汚染排水工事、擁壁工事における工事請負契約の件が審議されました。入札参加業者は5社で、第1回入札により落札率89・7%、7億5千6百万円で落札されました。工事期限は平成29年9月29日、面積11,400㎡、新斎場総工費約60億円であり平成

30年度の供用開始の予定です。【消防本部】はしご付消防自動車の新取得について審議しました。25m級直進型はしご車で伸縮水路管装置付・揺れ防止・水平メモリー等が装備された最新型であり、6,400cc以上ディーゼルエンジン乗車定員6名、高層建物7階まで届きます。配備先は飯坂消防署、契約金額は190,728千円です。所管事務調査として「救急体制の強化」の調査を進めてまいりましたが、今回まとまり、議長に報告し市長へ提言致しました。

### 今回の主な補正予算

- 賦課徴収費 (賦課事務費追加) ..... 112,831
- 常備消費費 (復興事業費) ..... 2,342 (千円)

## 文教福祉

(定数8人)

【渡辺・黒澤・白川】



【教育委員会】福島市パークゴルフ場は直営で運営されていますが、平成29年度から指定管理者制度が導入されます。また老朽化、狭隘化、耐震性不足の福島養護学校の校舎改築の基本設計を行います。飯坂球場の利用者の利便性の向上と、全確保を図るため、駐車場の整備を行います。大震災により被災

した福島体育館・武道館ですが、平成30年度供用を目指し建設工事を実施します。【こども未来部】新しい部局ですが、家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準の一部改正に伴い建物の設備及び保育士の配置基準が改正されます。

【健康福祉部】東日本大震災で被災した被保険者の負担を軽減し、生活再建を支援するため、介護保険料の減免が実施されており、また、平成28年分も国の財政支援基準が示されたことから継続して実施されます。

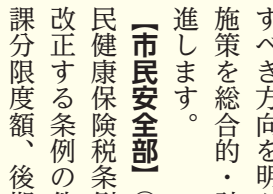
### 今回の主な補正予算

- 飯坂野球場駐車場整備事業 ..... 60,000
- サンドアートフェスティバル開催費 ..... 3,000 (千円)

## 経済民生

(定数9人)

【半沢・萩原・川又】



【商工観光部】高湯温泉「あったか湯」のエレベーター設備の更新として3千万円の補正予算を可決しました。

【農政部】福島市農業・農村振興計画が策定されました。本市農業の現状と課題を分析し、農業・農村振興に向けた行政の役割と目指すべき方向を明らかにし、施策を総合的・計画的に推進します。

【市民安全部】①福島市国民健康保険税条例の一部を改正する条例の件(基礎賦課分限度額、後期高齢者支援金等分の限度額引き上げ)②東日本大震災による被災者に対する国民健康保険税の減免に関する条例の一部を改正する条例制定の件(対象期間等の延長)

【環境部】あぶくまクリンセンター焼却工場施設整備費は自家用火力発電設備の不具合により発電できない状況の修繕と、焼却炉の耐火物損傷箇所改修のため1億6千万円の補正予算を可決しました。

### 今回の主な補正予算

- 国民健康保険事業費特別会計繰出金 ..... 38,453
- 国民健康保険事業費 特別会計 ..... 446,546 (千円)

## 建設水道

(定数8人)

【穴戸・小松・二階堂】



【都市政策部】下水道事業会計では、東京電力(株)から平成24年度分損害賠償金1億2,812万余が入金。今回は、補助金が不要になり一般会計に戻すマイナス補正です。これで賠償金の入金総額は、3億5,200万円弱で、25・26年分1億5,600万円強は請求中です。

【建設部】町庭坂内町の内町四号線、本内西畑の西畑・西河原線など11路線の市道路線の認定と1路線の廃止がありました。認定の理由は、すべて開発行為完

了に伴う道路帰属による認定となります。

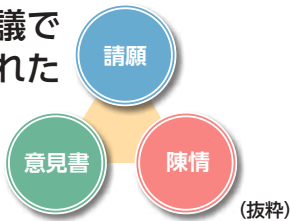
【水道局】平成27年度予算の建設改良費について平成28年度へ繰り越した6件について報告がありました。国土交通省や福島県発注工事との工程調整のためです。

### 今回の主な補正予算

- 下水道事業経営費等補助金 ..... △ 157,264 (千円)

## 平成28年6月

定例会議で採択された



請願  
陳情

意見書

- 国からの「被災児童生徒就学支援等事業交付金」による十分な就学支援を要請する意見書提出方について
- 福島市の速やかな中核市への移行を求めることについて
- 東京電力福島第一原子力発電所事故に起因する課題の解決に向けて必要なフォローアップ除染の実施と支援策を講じるよう求める意見書
- 「被災児童生徒就学支援等事業交付金」による十分な就学支援を要請する意見書



### 平成28年6月議会定例会議の報告

6月定例会議は6月1日に開会し復興関連予算を含む一般会計12億7千9百92万3千円の補正予算等議案22件について審査しました。

冒頭、新たに副市長に就任した山本克也氏から挨拶がありました。その後市長提案説明では、

はじめに熊本地震に触れ、被災者の皆様へのお見舞いを、また、本市からの物的支援及び活動支援の報告がありました。

次に市政の近況については、住宅除染、道路除染、生活圏森林除染、仮置場等の現状と今後の見込みに続いて、県北地域の

広域連携推進の取組み、安達太良山火山防災マップ作成の件、春の花見山観光入れ込み状況等、スカイパークに軽飛行機の研究開発拠点施設の誘致などについて説明がありました。詳細につきましては、各常任委員会の報告等をご覧ください。

また、今会議では各会派から11人の議員で構成した「議員政

治倫理条例策定特別委員会」が設置され、委員長に当会派の半沢正典議員が就任しました。

「福島市議会政治倫理条例（仮称）」策定のため審議します。

### 行政視察

## これからの福島市の課題となる、観光と連携中枢都市の先進地を視察

### 函館市

北海道新幹線が平成28年3月に開業したことに伴う観光戦略を聴取することで、本市においても開業効果を取り込む方策や、相馬福島道路が平成30年の暫定供用として開通することから観光客の増加対策を調査しました。

函館市では、6年前の平成22年から函館キャンペーンとして、北関東・東北・首都圏で、各種イベントやPRステージ及びJR駅を中心にポスターの掲出などを行ってきました。そのほか、青函圏・みなみ北海道連絡会議・

北海道新幹線新駅沿線協議会を開催し近隣町村との連携を図っています。さらに新たな観光ルートの開発など入念な準備をしているとの事でした。また滞在型・通年型観光の課題も参考となるものでした。



▲函館市役所内にて、担当部局より観光戦略を伺う

### 久慈市

平成25年度前期に放送されたNHK連続テレビ小説「あまちゃん」の効果による観光客増加を継続する事業について久慈市を視察。テレビ放送による「あまちゃん」の経済効果について、

約32億円と伺いました。東日本大震災以前とテレビ放映後の観光客数の推移、行政と観光協会や商工会議所、周辺自治体との連携、これからの課題などについて詳細に調査。放送効果を活かす企画を連動させて、全国さらには台湾など海外からも観光客を呼び寄せて、テレビでお馴染みになった北限の海女や琥珀、久慈の秋まつりや食を楽しんでいただいています。

東北で初の連携中枢都市となっている盛岡市の視察を行いました。福島市では中核市移行に向けて準備を進めています。中核市を目標とするだけでなく、

県北の中核都市となることが重要です。聴取では、連携協約締結の目的や過程を詳細に伺いました。

ビジョン策定後の5年間、国から盛岡市に2億円、連携先の7市町にそれぞれ1500万円程度の交付金が毎年度、配分される見込みとなっております。特に経済分野での活性化施策を連携都市と共に進めていることなどが示されました。それぞれの都市の得意分野でできる範囲で連携することが重要であることなど、本市でも参考にすべきです。



▲久慈市役所の玄関前のわきの歓迎横断幕前で

連続テレビドラマのロケ地という得難いワンチャンスを、観光振興に繋げる継続的な取り組みに学ぶべき点が多くありました。



▲盛岡市役所内で、連携中枢都市宣言までの説明を受ける

市当局より中核市移行にむけた福島市中核市移行基本方針と福島市保健所設置基本方針が示されました。中核市になると、県から市に福祉や保健衛生、環境、都市計画など多くの事務権限が委譲されます。また広域連携を推進し、連携中都市圏の構築を目指していくこととなります。今後先進地視察を含め、市民福祉の向上や財政影響等について調査を進めてまいります。

### 各特別委員会等からの報告

### 中核市移行に関する調査特別委員会

震災から5年が経過する中「フォロアアップ除染」「道路等に長期間堆積している土砂等について」「仮置き場について」の3点を喫緊の課題ととらえ、市当局から詳細な説明を聴取すると共に、環境省福島環境再生事務所長等に対し参考人招致を行う等、様々な調査を実施。市当局への提言を行うと共に、国に対し意見書を提出致しました。

### 除染推進等対策調査特別委員会

震災から5年が経過する中「フォロアアップ除染」「道路等に長期間堆積している土砂等について」「仮置き場について」の3点を喫緊の課題ととらえ、市当局から詳細な説明を聴取すると共に、環境省福島環境再生事務所長等に対し参考人招致を行う等、様々な調査を実施。市当局への提言を行うと共に、国に対し意見書を提出致しました。

### 議会改革検討会

議会改革検討会は、副議長と各会派を代表する議員により構成し、議長の諮問事項の調査及び議会基本条例施行状況について検証を行っています。委員会意見交換会については、「意見交換会運営要領」等を取りまとめ、また基本条例施行状況の確認は、項目ごとに6段階の評価を行い確認結果をまとめ報告しました。この報告は市議会ホームページに公表しています。

### 県会議員との懇談会



▲すべての会派が出席した県議会議員と市議会議員の懇談会

さる4月25日、福島市選出の県議会議員と福島市議会議員全員が集い、平成28年度福島県の総合計画並びに復興計画に関する意見交換会が開催されました。県議会より、県の平成28年度重点事業である人口減少・高齢化対策や生活再建支援、復興まちづくり等プロジェクトの内容及び事業概要について説明がなされ、県と市の連携により、復興の加速化と本県、本市のさらなる躍進を誓い合いました。

### 6月定例会議一般質問（抜粋）

真政会から黒沢仁・菅田憲孝・萩原太郎・川又康彦・渡辺敏彦の5名が質問に立ち、市政全般の諸課題を質しました。

#### 基本計画に含まれない事業への機動的な対応について

総合計画後期基本計画に含まれない事業へ、機動的に取り組みまざるを得なくなった場合、市民サービスを低下させることなく、どのようにして財源を確保されるのか質しました。

これに対し当局から、財源の確保には、まず課税客体の確かな把握と収納率の向上に努めるなど引き続き、自主財源の確保を図っていくとの回答がありました。また、事業の厳選を通じた経費の計画的、効率的な配分による行政経費の節減に努める

とともに、既存事業の実績や効果を効率性、有効性の観点から徹底検証して見直しを行うほか、国・県支出金等の積極的な活用を図るなどにより財源を捻出し、市民サービスの低下を招くことのないよう努めていくとの答弁でした。

#### 夜間急病診療所の整備・拡充について

現在の夜間急病診療所は、狭隘なことから待合室が小さく、インフルエンザ等の施設内での感染を引き起こしかねない等の問題提起がなされております。

市民の健康と安全をまもる視点からも、夜間急病診療所の役割は非常に大きく、施設の移転や大改修が必要であると思われる

ます。又、市医師会からも新築移転工事が進む大原総合病院周辺に整備するようとの要望も出ており、夜間救急診療所の拡充等について質しました。

これに対し、夜間急病診療所の整備、拡充は現在の福祉センターの利用状況および構造上観点から今以上の機能の拡充は困難であり、今後は、福島市夜間急病診療所運営協議会の意見もふまえ、移転も含め検討していきたいとの答弁がなされました。

#### 市立図書館中央学習センター・公会堂の建替えの方針を決定する時期について

標題3施設は、いずれも建築後50年以上経過しており、設備の老朽化や雨漏りなど本体にも影響が出てきております。今まで議会でも再三質問が出ておりましたが、そろそろ方針を決めなければならぬ時期です。いつまでに結論を出すのか、その時期を質しました。

これからお金をかけて修繕しながら使用するのか、それぞれ個別に建築するのか、あるいは複合施設にするのか、それから公表はされていませんが、耐震診断の結果も気になる場所です。しかし、建設場所も含めて様々な観点から検討していくというものであり、今までもおりの答弁でした。このため市長の決断で早期に方向づけをするよう

要望しました。

#### 国保データベースシステムの支所単位での活用について

それぞれの地域での健康寿命を長くすることが高齢化を迎えた市の重要課題です。そこで、地域によって高血圧の傾向が高いことなど、医療費を基にした地域の疾病状況を他都市と容易に比較することができる国保データベースシステムの支所単位での現在の活用状況について質しました。これに対し、当局からは現在、地域担当の保健師が地区診断の参考資料として利用し、地区の検診率向上や特定疾患の重症化予防などの施策に活用しているとの答弁でした。このため、この支所単位のデータを利用し、支所長が町内会等での健康運動などを促進することができるようになることを示し、国保データベースシステムのさらなる活用を要望しました。

#### 自治振興協議会要望事項に対する対応について

昨年度の要望は1,673件で対応実績は500件、実施率は29.9%であり、道路側溝の新設と修繕についての要望が395件中133件実施、水路等の修繕については306件中32件、道路拡幅の改良と修繕が301件中51件をそれぞれ実施したとのこと。要望の達成率向上に向けて関係機関に働きかけを行い、要望の実現に努めるとしたが予算が厳しい状況であるとの説明であったので、予算編成の抜本的な見直しを提言しました。

今回の一般質問の全文内容は、福島市議会ホームページ【<http://www.city.fukushima.fukushima.jp/site/gikai/index.html>】の「議会録画中継」でご覧いただけます。

**尾形 武**  
副会長  
総務常任委員長  
議会運営委員  
政治倫理委員  
松川町浅川字大古内9  
TEL: 548-7683

**真田 広志**  
相談役  
総務常任委員  
議会運営委員  
除染推進委員長  
松浪町 1-15  
TEL: 526-3201

**宍戸 一照**  
顧問  
副議長  
建設水道常任委員  
荒井字上町裏 10  
TEL: 593-1035

**渡辺 敏彦**  
顧問  
文教福祉常任委員  
中核市調査委員  
松川町字青麻山 3  
TEL: 567-2660

**半沢 正典**  
会長  
経済民生常任委員  
中核市調査委員  
政治倫理委員長  
上島渡字寺北 28-3  
TEL: 593-5256

**菅田 憲孝**  
総務会長代行  
総務常任委員  
議会運営委員  
中核市調査副委員長  
政治倫理委員  
本内字西畑 4-6  
TEL: 553-7030

**大平 洋人**  
総務会長  
総務常任委員  
議会運営委員  
除染推進委員  
八島田字東本庄町 4-27  
TEL: 559-2043

**白川 敏明**  
幹事長代行  
文教福祉常任委員  
議会運営委員会副委員長  
政治倫理委員  
飯坂町字中原 36  
TEL: 542-4041

**小松 良行**  
幹事長  
建設水道常任委員  
中核市調査委員  
瀬上町字東町 2-6-10  
TEL: 553-0647

**黒沢 仁**  
副会長  
文教福祉常任委員  
中核市調査委員  
飯野町大久保字  
谷津 44  
TEL: 562-3582

**編集後記**  
あじさいの鮮やかな青や紫もその色をますます濃くしている時期です。市では花火大会やわらじ祭り、灯ろう流しなど夏の風物詩でもあるイベント開催に向けて準備の最中です。練習も入念に行い、皆さんに恥ずかしくない踊りを披露できるよう頑張ります。

※正式名称は左記のとおりです  
〔除染推進委員〕  
除染推進等対策調査特別委員  
〔政治倫理委員〕  
議員政治倫理条例策定特別委員  
〔中核市調査委員〕  
中核市移行調査特別委員

**川又 康彦**  
政調会事務局長  
経済民生常任委員  
除染推進委員  
政治倫理委員  
飯坂町字湯町 25  
TEL: 542-4251

**二階堂 武文**  
政調会長代行  
建設水道常任委員  
除染推進委員  
町庭坂字内町 51-2  
TEL: 591-1138

**萩原 太郎**  
政調会長  
経済民生常任副委員長  
除染推進委員  
山口字下屋敷 28-2  
TEL: 535-4693